

総合学術研究科 保健福祉学専攻

博士課程前期・後期

博士課程前期・後期として新たなスタート

15年間の歴史をもつ保健福祉学専攻修士課程は、令和4(2022)年4月から、博士課程前期となり、新たに博士課程後期が開設されました。

専攻長メッセージ

県立広島大学総合学術研究科保健福祉学専攻の養成する人材像は、“地域が抱える保健福祉サービスの課題を科学的に実証し、その保健福祉サービスを実践現場で浸透させる能力を有し、生涯にわたり専門能力開発を続け、保健福祉専門職全般の生涯学修を促進する研究力・実践力・教育力の全てを備えた高度専門職業人を育成する”ことです。この理念のもとに、保健福祉学専攻修士課程において育成された修了生は、地域が抱える課題を解決するために、臨床現場、教育現場などで活躍しています。

学習環境の工夫としては、長期履修制度、オンライン授業の導入、夜間・土日の授業開講などがあり、社会人学生が学びやすいようにしています。

大学院で学ぶと、単に研究能力が向上するだけではなく、働く上で必要な問題解決能力が向上します。医療福祉の様々な専門家が集まるこの大学院で、共に学び、国内外に発信することができる人材をお待ちしています。



保健福祉学専攻長
西上 智彦

分野・領域

地域保健学・実践看護学分野

総合リハビリテーション分野

ヒューマンサービス分野

- ◆ 運動行動障害学領域
- ◆ 作業遂行障害学領域
- ◆ コミュニケーション障害・脳科学領域

学修環境

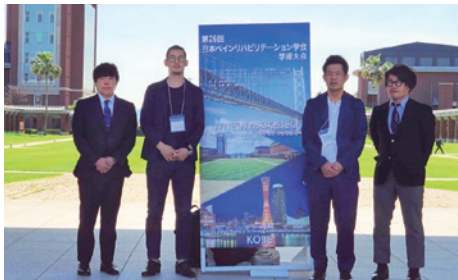
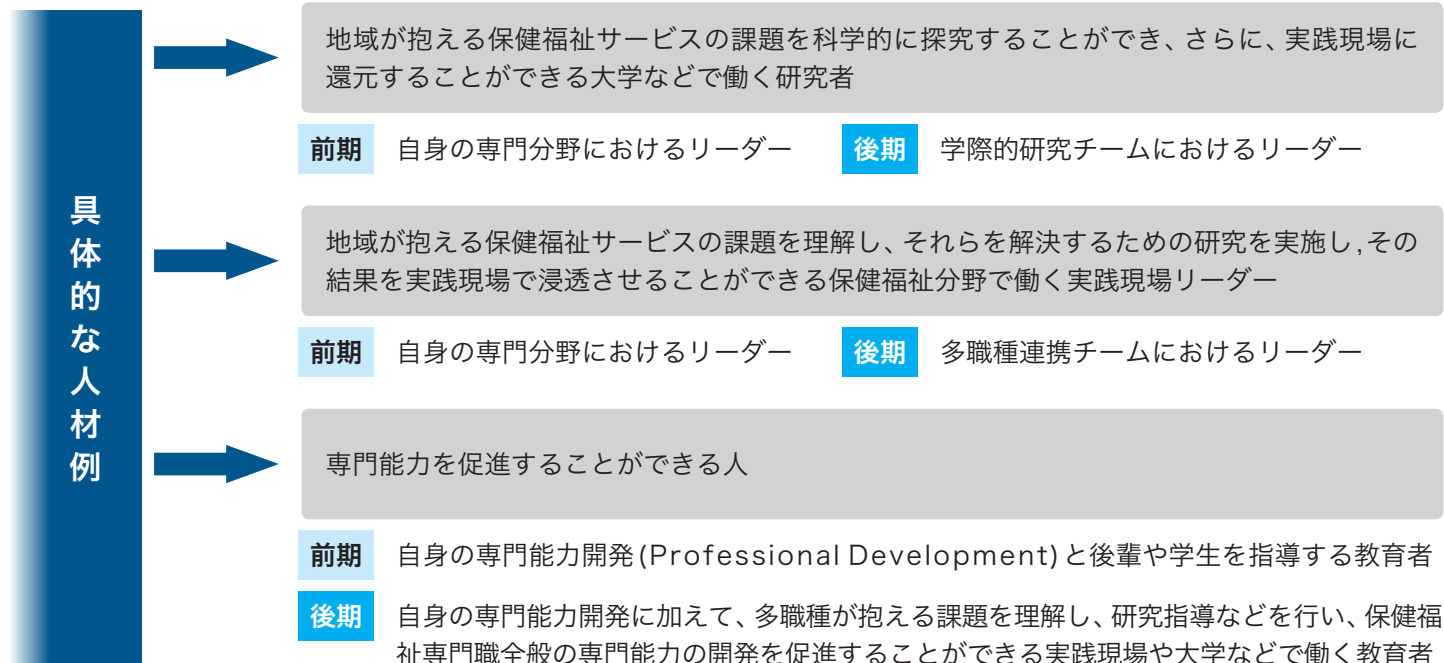
次の制度により、社会人の大学院生が、**仕事をしながら学修することができます。**

- ◆ **長期履修制度（前期では最長4年、後期では最長6年）**
職業をもっていたり、子育てや介護など家庭の仕事を担っていたりする場合には長期履修制度を利用できます。
- ◆ **オンライン授業の導入**
対面授業だけでなく、オンライン授業やハイブリッド授業も行っています。
- ◆ **夜間や土日の授業開講**
- ◆ **履修学生と教員との協議による履修日時の調整**
履修学生と教員との協議により時間割に記載されている履修日時を変更できることがあります。



育成する人材像

地域が抱える保健福祉サービスの課題を科学的に実証し、その保健福祉サービスを実践現場で浸透させる能力を有し、生涯にわたり専門能力開発を続け、保健福祉専門職全般の生涯学修を促進する**高度専門職業人**を育成する。



ディプロマ・ポリシー

地域課題の理解と
科学的検証

前期

地域が抱える保健福祉サービスの課題解決に関する背景を理解し、研究課題を明確にし、その課題を解明するための適切な研究方法を選択できる

後期

地域が抱える保健福祉サービスの課題に対して、研究者として自立して科学的に検証することができる。

保健福祉サービスの
実践

前期

科学的検証を通して得られた知見を実践現場に還元することができる。

後期

地域が抱える保健福祉サービスの課題を理解し、様々な手法を用いて解決ことができ、その保健福祉サービスを現場に浸透させることや制度に反映させることができる。

専門能力開発
の推進

前期

保健福祉分野における専門職として自己の実践を省察し、自身の専門能力開発に取り組み、質の高い実践を行うことができる。

後期

自身の専門能力の開発に加えて、多職種の教員が実施する科目を履修し、学際的に学修することで、幅広い学識を養い、多職種に対しても研究指導・実践指導などができ、保健福祉専門職の専門能力の開発を促進することができる。

カリキュラム・ポリシー

地域課題の理解と科学的検証	保健福祉サービスの実践	専門能力開発の推進
前期	前期	前期
共通科目、専門支持科目	専門科目、特別研究	共通科目、専門支持科目
後期	後期	後期
特別研究	専門科目、専門支持科目	専門分野とは異なる分野の特別講義と演習

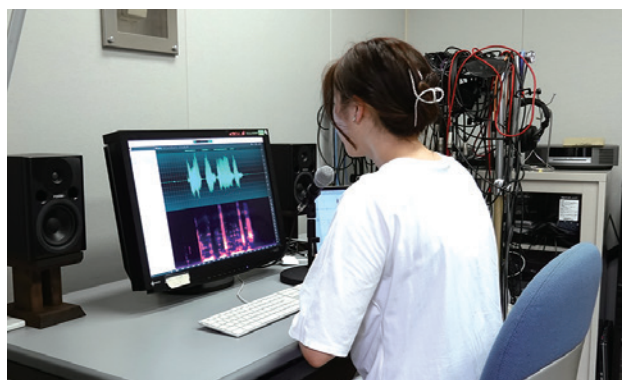
学修成果は、授業における議論への参加度、レポートや特別研究の完成度等により総合的に評価を行う。

アドミッション・ポリシー

- 前期** 保健・医療・福祉分野において地域社会の様々な課題を解決しうる専門職として、高度な知識と技能を学ぶ意欲に満ちた人
- 後期** 保健福祉において専門職としての実務経験を持ち、医療を含む保健福祉学における研究を行い、論文を執筆した経験がある人

専門教育科目の特色

- ◆ 保健福祉全般にかかる「共通科目」、学生の研究課題や所属する分野領域、将来の進路に応じた「専門支持科目」、各専門分野・領域ごとの「専門科目」に分かれています。
- ◆ 研究は、複数の教員がチームで指導し、中間および終了時に論文発表会を行います。



共通科目

前期 保健福祉の地域課題の理解と解決のために必要な知識・技能について学びます。

後期 地域社会における保健福祉分野の課題を専門的、及び学際的に学び、科学的観点からその解決方法を模索し、実践できる知識・技能を学びます。

専門支持科目

前期 保健福祉サービスの科学的検証のために必要となる特定の領域における知識・技能を学びます。

後期 専門領域の異なる教員が共同で科目を担当することにより、多様な保健福祉サービスの課題とその解決法や科学的に検証する方法を学修し、保健福祉専門職の専門能力開発を促進できる能力を培う教育を行うための知識・技能を学びます。

専門科目

前期 分野・領域ごとに科目が設定され、特別研究では、研究を行い、修士論文を完成させます。高度専門職人材として成長を続けるための知識・技能・態度を学びます。

後期 講義と演習では、学生の専門分野とは異なる分野の科目を履修することにより、多職種チームでのリーダーとなるための知識・技能を学びます。特別研究では、博士論文となる研究を通して、倫理的な配慮を身につけるとともに、適切な方法論を用いて自ら研究を推進し、その結果発表に取り組むための知識・技能・態度を学びます。

入試情報

		総合学術研究科 保健福祉学専攻	
		博士課程前期 (定員20人)	博士課程後期 (定員5人)
募集人数		20人	5人
標準修業年限		2年	3年
学位		修士(保健福祉学)	博士(保健福祉学)
入試日程	第1次募集	令和5年9月8日(金)	令和5年9月8日(金)
	第2次募集	令和6年1月18日(木)	令和6年1月18日(木)
出願期間	第1次募集	令和5年8月16日(水)～令和5年8月23日(水)	
	第2次募集	令和6年1月4日(木)～令和6年1月10日(水)	
選抜方法		一般選抜	英語・口述試問
		社会人特別選抜	英語又は小論文・口述試問
		外国人留学生特別選抜	英語*又は小論文・口述試問
		一般選抜	英語・小論文・口述試問

※令和4年4月1日以降に実施された試験のスコア証明書を提出してください。

第2次募集は、第1次募集で定員を充足していない場合のみ実施します。詳細は県立広島大学ホームページをご覧ください。
(<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/>)



県立広島大学 三原キャンパス アクセス



- JR広島駅～JR三原駅
JR山陽新幹線「こだま号」で約30分

- JR福山駅～JR三原駅
JR山陽新幹線「こだま号」で約20分
JR山陽本線で約35分

- JR岡山駅～JR三原駅
JR山陽新幹線「こだま号」で約45分

- 広島空港～JR三原駅
リムジンバスで約40分

- JR三原駅～県立広島大学 三原キャンパス
JR三原駅南口バス5番乗り場から
芸陽バス「頼兼線」に乗車(約15分)
「県立広島大学」(終点)下車

お問い合わせ先

県立広島大学 三原キャンパス 教学課

〒723-0053 広島県三原市学園町1番1号 TEL (0848)60-1126 (直通)

E-mail : kyogaku@pu-hiroshima.ac.jp